

松川浦における幼稚魚の出現状況

福島県水産資源研究所 資源増殖部

1 部門名

水産業－資源管理－その他魚種（海）

2 担当者名

瓜生純也・岩崎高資・守岡良晃・白土遼輝

3 要旨

重要魚種の加入水準を予測する松川浦幼稚魚調査の結果、近年はカレイ類等の採捕個体数が少なかった。一方、暖水性の魚種が確認されており、本県沿岸の海況変化による影響を受け、松川浦湾口部の水温が上昇したことが、その要因のひとつとして考えられた。

(1) ビームトロール網（幅 2m,目合い 2.2cm）を用いた松川浦幼稚魚調査の結果、近年はイシガレイ、マコガレイ、アイナメの採捕個体数は少なかった。また、2016 年以降、植食性のアイゴなど暖水性魚種が確認された(表 1)。

(2) 1985～2021 年の松川浦湾口部における年平均の水温は、10 年間で 0.35℃のペースで上昇しており、近年は平年値を上回る年が続いていた(図 1)。

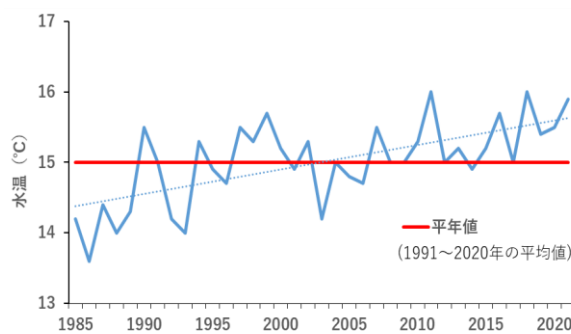


図 1 松川浦湾口部における水温（年平均）の推移

表 1 松川浦幼稚魚調査の魚種別採捕個体数（当歳魚）

魚種\年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
イシガレイ	335	465	818	76	61	65	1	2		25	5	10	5	11	6		5	18	14	4
マコガレイ	66	253	312	116	38	34	5	41	欠	5	30	21	17	26	13		2	7	13	15
アイナメ	84	86	61	51	18	4	7	13		9	10	13	19	5	6			3	5	2
シロメバル	68	400	182	23	29	13	11	22		4	46	17		84	238	1	8	52		5
スズキ	3	1		2	3	8	2	1	測		5	6	1	9	365		10	1024	2	28
クロダイ	2	3		5	7	4	2	2		3	3	1	16	2	3	1		12	48	21
コンゴウフグ														1						1
ハタタテダイ														1						
アイゴ															2					19
クロホシフエダイ																				1
タチウオ																				

太字：暖水性魚種 ※調査月：6～10月 2008～2010年は6,8,10月のみ、2018年は10月のみ 魚種は抜粋

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 底魚資源の管理手法に関する研究

5 主な参考文献・資料

- (1) 山田学他, 松川浦ビームトロール調査による 2017 年の稚魚採集状況と漁獲加入との関連の検討, 東北底魚研究, 38, p.88-92, 2018.